

平成26年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画課	記入者名	田口 保	内線	223
事務事業名	ツルと歴史のまち応援基金事業		事業期間	平成 20 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等	地方税法（寄附金税制）、出水市ツルと歴史のまち応援基金条例及び施行規則						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	
企画一般管理費（ツルと歴史のまち応援基金募集事業）		01	02	01	06	001	
ツルと歴史のまち応援基金積立金		01	02	01	05	007	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

平成20年度に創設された国の「ふるさと納税制度」を活用し、広くふるさと納税の寄附金を募集し、寄附金を「出水市ツルと歴史のまち応援基金」に積み立て、一般財源を確保するとともに、将来都市像「人と自然が融和したにぎわいある元気都市出水市」の創造のため、地域資源の保全、観光振興、人材育成等の事業の財源とする。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 140人 寄附額 6,147,656円 ・県総会出席旅費 1,000円 ・募集チラシ・返信封筒印刷代 47,250円 ・消耗品費 7,056円 ・役務費 29,210円 ・広報紙発送委託 103,026円 ○平成25年度基金積立金 7,544,000円 ○基金活用事業 ・ツルと歴史のまち応援事業 979,000円 ・観光牛車支援事業 100,000円 ・指定文化財マップ作成事業 413,000円	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 160人 寄附額 6,500,000円 ・報償費 120人 360,000円 ・募集チラシ・特産品チラシ印刷代 109,000円 ・消耗品費 7,000円 ・役務費 80,000円 ・広報紙発送委託料 147,000円 ○平成26年度基金積立金 3,037,000円（予算現計） 8,000,000円（目標） ○基金活用事業 ・ツルと歴史のまち応援事業 1,000,000円 ・観光牛車支援事業 100,000円 ・空き店舗再開事業 1,900,000円 ・青年の家ドームテント整備事業 2,300,000円	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 180人 寄附額 7,000,000円 ・報償費 140人 420,000円 ○平成27年度基金積立金 8,500,000円（目標）	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 200人 寄附額 7,500,000円 ・報償費 160人 480,000円 ○平成28年度基金積立金 9,000,000円（目標）

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
主に県外の本市出身者	寄附金の募集チラシを作成し、県外のふるさと会等で制度の周知と寄付のお願いをする。 平成26年度からは、年度内1万円以上の寄附者に対し、地元特産品等の贈呈をする。（ツルの恩返し便で取り扱う商品から選択）
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
・「ふるさと納税」の制度の趣旨を理解していただき、寄附賛同者を増やすことにより、寄附額の増加を図り、本市の財源確保につなげる。 ・基金の事業目的とした4つの事業の財源を確保し、適時適切な事業に財源充当を行う。	

5 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標	27年度 目標	28年度 目標	最終目標	
									年度	目標値
活動指標	①									
	②									
成果指標	① 応援基金寄附金	千円	5,059	9,310	6,147	6,500	7,000	7,500	30	8,500
	② 寄附者	人	171	168	140	160	180	200	30	240
	③ 応援基金積立金	千円	6,352	10,327	7,544	8,000	8,500	9,000	30	10,000
	④ 基金を財源とした事業	事業	2	3	3	4	5	5	30	5

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	寄附者への特産品贈呈の導入（平成26年度）及び制度の周知により寄附賛同者の増加を図る。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	財源確保の面において影響がある。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
その他	<input type="checkbox"/> ある	成果指標を上げていくためには、ある程度のコストの増加（特産品等贈呈）はやむを得ないと考える。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	県でも「かごしま応援寄附金事業」を行っており、配分はあるが、財源確保のためには、市単独の基金を設置するほうが効果的である。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	1万円以上の寄附者に対し3千円相当の特産品を贈呈することは、他市と比較しても妥当ではないかと考える。
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
始良市（3万円以上の寄附で4千円相当の特産品）、南さつま市（1万円以上の寄附で2千円相当の特産品）、いちき串木野市（5万円以上の寄附で3～5千円相当の特産品）、鹿屋市（5万円以上の寄附で寄附額に応じて2千円～2万円相当の特産品）、長島町（5千円以上の寄附でデコボン2千円分）など		

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本年度から寄附者への返礼品贈呈を導入したものであり、当分の間は、状況を検証していく必要がある。また、本制度の周知に努め、本市の財源確保につながるよう事業を継続する。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本年度から寄附者への返礼品贈呈を導入しているが、寄附額に応じた返礼品贈呈へ改善して実施すること。